



市立小学校とのオンライン授業（2回目）を行いました！



前回に続き、令和3年9月29日（水）、浅口市立金光竹小学校6年生の理科「月の形と太陽」の学習で、Google Meetをつかったオンライン授業を行いました。（写真上）

浅口市では、市立小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備し、小学校でも子ども達がつかえるように指導を進めています。今回は、児童一人ひとりが自分のタブレット端末をつかってオンライン授業を受けました。

「太陽はどのような星なのか調べよう」をめあてに、はじめに太陽について知っていることや疑問に思っていることを、MeetのJamboard（ジャムボード、仮想のホワイトボード）をつかって、児童それぞれが書きこみました。（写真中）

授業前はくもり空でしたが、はじまると晴れ間が見え、遮光プレートで観察した後、博物館から太陽のようすをライブ配信しました。太陽の表面に見える黒点やプロミネンスを、児童は自分のタブレット端末をとおして観察することができました。（写真下）

最後に、Jamboardに挙がった質問に答え、ふりかえりでは、児童から「太陽と地球の大きさのちがいがわかりやすかった」、「黒点やプロミネンスについてよくわかった」などの感想を公表してくれました。

博物館では、今後も小学校とのオンライン授業を予定しており、工夫や改善をしながら進めていきます。

